

# 氷山モデルで考える自立支援と行動支援

自立・般化・応用が難しい 本人の行動 気になる行動・適切ではない行動

## 【要因となる環境・状況】

- 様々な状況の変化
  - 予定、人、物の配置などの変化
  - 習慣になっていることの変化
  - 今まであったものが無くなるなど
- 影響を与える刺激や情報
  - 様々な刺激がある
  - 様々な情報が見える・聞こえる
  - 複雑でわかり難い指示・情報がある
  - 複雑でわかり難い環境がある
  - 関係のない刺激や情報など
- 必要な支援がない
  - 必要な指示がない
  - 終わり等が提示されていない
  - 見通しが提示されていない
  - 本人にあった指示ではない
  - 注目できにくい指示になっている
  - 環境が整理されていない
  - 物や本人の場所の提示がない
  - 代替コミュニケーションがない
  - 刺激が統制されていないなど

## 【要因となる自閉症の特性】

- 受容コミュニケーションの特性  
言語指示の理解の困難さ、字義どおり理解する、言語指示を整理してつかむことができないなど
- 表出コミュニケーションの特性  
無言語、エコラリア、声の調子やリズム、意思交換の困難さなど
- 社会性・対人関係の特性  
一人であることを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション、セオリ・オフ・マインドの困難さ、自発的にかかわりをもつことの困難さなど
- 転導性・衝動性注意・注目の特性  
転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ注目することの困難さなど
- 時間の整理統合の特性  
日程の計画や調整、活動や手順の調整、実行機能の困難さなど
- 空間の整理統合の特性  
自分の位置や材料や道具の位置の調整、1つの場所の多目的利用の困難さなど
- 変化の対応の特性  
場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・抵抗、強迫的な行動、ルーティンの必要性など
- 般化の特性・関係理解の困難さ  
習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できない。関連づけしすぎる、自己流の解釈、字義どおりの解釈、絵などを具体的にとりすぎる。など
- 記憶の維持の特性  
短期記憶・作業記憶\*などの維持の困難さなど
- 長期記憶の特性  
長期に脳に維持される記憶、経験した記憶が消せない特性など
- 感覚の特異性  
視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激などによる反応、または鋭敏さ、鈍感さ
- 微細運動・粗大運動  
手と目の供応の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動きなど

## 【要因となる本人の気づき・記憶】

- 習慣になっているものがある  
いつもと同じ流れ、習慣があり修正が難しい内容。例えばパターン化された生活になって変更が難しいこと
- 自分流の気づき・考え方をもつ  
物事の関連付けやルールなどを自己流で解釈している内容
- 過去に経験したこと学んだことを修正できない  
過去の体験や人から教えてもらったことで修正が難しい内容
- 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感がある  
過去の経験を思い出しパニックになったり、混乱や恐怖・嫌悪感による様子が見られる など

## 【その他の障害特性の影響】

- 情報が理解できない
- 概念を持っていない
- 記憶の特性
- スキルを持っていない
- 身体的な障害を持つ
- 情緒面の特性を持つ
- 興味関心
- 生育歴の影響を受けている 等

## 指導・支援の計画

- 本人が学習・活動しやすい環境設定にする
- 影響をうけている刺激・情報を統制する
- 場所、課題の境界を明確にする
- 材料や道具を容器などで整理して提示する
- 習慣を活用する
- 本人が理解できる視覚的な情報で伝える
- 見通し、終わりなどを視覚的についたえる
- 情報を整理して伝える
- 情報の量を調整する
- 自分の気持ちを伝える方法を教えるなど

